

## 第2節 | プロセス評価

プロセス評価とは、さいたま市ヘルスプラン2 1（第2次）の最終目標である健康寿命の延伸に至るまでに必要な過程（プロセス）に着目し、必要な過程を押さえた上で推進することができるか確認するものです。

本計画では、2年ごとに実施しています。

評価項目は、目標、計画の活動状況、地域の社会資源の活用など13項目からなります。事務局及び健康づくり推進協議会委員が各項目について4段階で評価を行い、その平均値を算出しています。

また、単に数値化するだけでなく、評価理由も明らかにしています。平成26年度と平成28年度を比較すると、13項目中9項目で上昇しました。

### 【平成28年度プロセス評価】

本評価は次の4段階で実施している。

- 1…そうではない、できていない
- 2…どちらかというそうではない、あまりできていない
- 3…どちらかというそうである、ほぼできている
- 4…そうである、十分できている

※評価項目のうち、(1)、(3)、(8)は事務局で評価し、残りの項目は健康づくり推進協議会委員が評価し平均値を計上した。

※下表の「評価」欄の数値は平均値。↑(改善、上昇)、→(変化なし)、↓(悪化、低下)は平成26年度評価との比較。

※下表の「評価理由」は評価者の原文を掲載。

評価項目		評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
<b>目標</b>				
(1)	データや住民のニーズも取り入れながら優先順位を出しているか。	ヘルスプラン2 1（第2次）計画書、ヘルスプラン2 1（第2次）に関する事業の取組事例	3.0 →	・市民調査（H28）を実施し、それらの統計データを基に目標値に対する到達度を評価し、今後、重点を置く分野について分析した。（事務局）
(2)	事業実施にあたり、優先順位を検討して実施しているか。	ヘルスプラン2 1（第2次）に関する事業の取組事例	3.0 ↑	・連携の中から優先順位がみえてくるので常時周囲に配慮の目が必要。 ・優先順位が検討されているかの判断は難しい。 ・団体ごとの事業となっているので、同様事業での連携が図れると効率的な事業実施が行われると思われる。 ・前例に従って実施している傾向がある。

評価項目	評価する際に参考とする資料	評価	評価理由	
<b>計画の活用状況</b>				
(3)	本計画は、他の事業の計画や予算編成に活用しているか。	3.0 →	・本計画の課題や目標を参考にし、事業の企画及び予算要求を行った。(事務局)	
<b>地域の社会資源の活用</b>				
(4)	地域の自主組織の活動状況(活動数、活動内容)について把握しているか。	ヘルスプラン2 1 サポーター <sup>22</sup> 名簿(市ウェブサイトで公開中)	3.0 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの拡大が理想。</li> <li>・自主組織全て把握することは難しいが、活動状況の把握ができています。</li> <li>・サポーター制度が十分に活用されているとは思われないが、他の組織活動の把握はだいたいされている。</li> </ul>
<b>取組の基盤整備</b>				
(5)	本計画を推進するための体制を整備しているか。(庁内の検討体制など)	健康づくり推進協議会設置要綱	3.5 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなテーマ、よくこなされていた。</li> <li>・体制は整ってきている。</li> </ul>
<b>進行管理組織</b>				
(6)	進行管理組織を設置、進捗状況について把握しているか。	健康づくり推進協議会開催状況	3.2 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好と思われた。</li> <li>・情報公開もされており、できていると考える。</li> </ul>
<b>データ収集、モニタリングシステムの構築</b>				
(7)	評価指標について、データ収集の方法があるか。	ヘルスプラン2 1 (第2次)結果評価票、ヘルスプラン2 1 (第2次)影響評価票、ヘルスプラン2 1 (第2次)目標指標となる数値の推移、健康についての調査報告書	3.0 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内で回ってくる回覧板は目を通す人が多く、利用しても良いのでは?</li> <li>・多項目について調査がされていて、今後推進すべき項目の気づきに役立っていると思われるが、一部算出不能のものがある。</li> </ul>
<b>目標の見直し</b>				
(8)	目標や評価指標について、見直しを行っているか。	ヘルスプラン2 1 (第2次)影響評価票	3.0 →	・市民調査(H28)を実施した結果等を受け、中間評価(H29)において、見直しが必要か検討する。(事務局)

<sup>22</sup> ヘルスプラン 21 サポーター：「さいたま市ヘルスプラン 21」に賛同して、自らの健康づくりの取組みを宣言し、地域の中で主体的に健康づくりを行う、市内所在の団体、店舗・事業所、施設等のこと。

評価項目		評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
<b>事業の評価</b>				
(9)	目標に基づいて、事業の評価を行っているか。	ヘルスプラン21（第2次）に関する事業の取組	3.3 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆多忙でおられる中ヘルスプラン21（第2次）に大変協力的であったと感じる。</li> <li>・努力が認められる。取組み評価について、過去の同事業との比較が数値化されるとなおよいと思われる。</li> </ul>
<b>事業の見直し</b>				
(10)	新規事業の開始だけでなく、既存事業の見直しを行っているか。	ヘルスプラン21（第2次）に関する事業の取組	3.0 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位で急ぐべきことは先だが、振り返る継続も必要。（改善点がそこから見えてくる）</li> <li>・昨年度制度設計がされた事業が実施されていたり、既存事業の拡大が感じられたものがあった。</li> <li>・国保での特定健診受診キャンペーンの実施等、既存の取組を見直した上での新しい試みがみられた。</li> <li>・バランスが良いと思う。</li> </ul>
<b>環境整備に向けた取組</b>				
(11)	食環境や運動環境の整備など、健康づくりを支援する環境整備に取り組んでいるか。	ヘルスプラン21（第2次）に関する事業の取組	3.3 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民もとっつきやすいテーマであった。身近でも参加し効果を上げていた。とてもよかったと思う。</li> <li>・関心の高いテーマであるが、より一層意識を高める環境づくりの支援が行われた。</li> <li>・関心が高く、良い方向にあると思われる。運動機会の拡大がより必要と思われる。</li> <li>・市や各関係団体、事業者等、各々で運動教室や栄養教室を実施し、環境整備への積極的な取組がみられた。</li> </ul>

評価項目		評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
<b>部局間の連携</b>				
(12)	関係部局との連絡、調整が円滑に図れているか。について把握しているか。	ヘルスプラン2 1 (第2次)に関する事業の取組	3.0 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人事でなく自分事として今後も連携を密にしていきたい。</li> <li>・事業展開から判断すると、部局連携がされていると判断できる。</li> </ul>
<b>民間団体、関係機関、事業者等との連携</b>				
(13)	民間団体、関係機関、事業者等との連携が円滑に図れているか。	ヘルスプラン2 1 (第2次)に関する事業の取組	3.0 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログ世代にはウェブサイトは苦手だが、民間・事業者よく協力されていたと思う。</li> <li>・医師会、全国健康保険協会等との連携が取れ始めたところかと判断する。うまく活動が連携し、市民への周知が広がることを期待する。</li> </ul>

## 【平成 26 年度プロセス評価】

本評価は次の 4 段階で実施している。

- 1 …そうではない、できていない
- 2 …どちらかというところではない、あまりできていない
- 3 …どちらかというところである、ほぼできている
- 4 …そうである、十分にできている

※評価項目のうち、(1)、(3)、(8) は事務局で評価し、残りの項目は健康づくり推進協議会委員が評価し平均値を計上した。

※下表の「評価」欄の数値は平均値。

評価項目		評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
<b>目標</b>				
(1)	データや住民のニーズも取り入れながら優先順位を出しているか。	ヘルスプラン 2 1 (第 2 次) 計画書、ヘルスプラン 2 1 (第 2 次) に関する事業の取組事例	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定時に、市全体の重点目標を掲げるほか、区の現状に合わせた事業が展開できるよう、統計データを基に行政区毎の健康づくりの目標を掲げた。(事務局)</li> </ul>
(2)	事業実施にあたり、優先順位を検討して実施しているか。	ヘルスプラン 2 1 (第 2 次) に関する事業の取組事例	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色を生かし、実施している。マンネリ化しないように、創意工夫が必要。</li> <li>“優先順位を検討して”いるのかどうかはこの内容からはわからない。</li> <li>・上部団体の計画を考慮し自分たちの計画作成実施。</li> <li>・目標ごとの指標及び取組はあるが、優先順位が定まっているとは現状は言えない。</li> <li>・第 2 次計画に基づき実施されている。</li> <li>・2つの重点目標について、10区でそれぞれ実施しており、優先順位を検討する際に、各区の間で連携が図られていないと思われる。市民ならどこでも、誰でも参加できるようにした方が、効率的、効果的な事業が実施できると思われる。</li> </ul>

評価項目		評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
<b>計画の活用状況</b>				
(3)	本計画は、他の事業の計画や予算編成に活用しているか。		3.0	・本計画の課題や目標を参考にし、事業の企画及び予算要求を行った。(事務局)
<b>地域の社会資源の活用</b>				
(4)	地域の自主組織の活動状況(活動数、活動内容)について把握しているか。	ヘルスプラン2 1 サポーター名簿(市ウェブサイトで公開中)	2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の組織については、知る機会が少ない。</li> <li>・だいたい把握できていると考える。</li> <li>・把握していても活用できる活動がない。サポーター制度の周知が今後の課題である。</li> <li>・サポーターの中には必ずしも報告を作成していない団体が見受けられる。</li> <li>・各区のサポーターの活動概要等が市ウェブサイトで整理され公開されており、活動状況の把握はできている。サポーターの連絡先やHPアドレスを載せることで、より多くの市民に対して、健康づくりの取組がPRできると思われる。</li> </ul>
<b>取組の基盤整備</b>				
(5)	本計画を推進するための体制を整備しているか。(庁内の検討体制など)	健康づくり推進協議会設置要綱	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなりできている。</li> <li>・体制は整ってきているようだ。</li> <li>・協議会が委員として参加している団体や取組を紹介する場になっていて、市民に健康づくりを取り組んでもらおうという議論がない。本庁各課、各区の事業の報告や提案がされる場になることを望みます。</li> <li>・設置要綱に基づき体制が整備されている。</li> <li>・実施要領を策定し、位置づけられており、体制整備が十分できている。</li> </ul>
<b>進行管理組織</b>				
(6)	進行管理組織を設置、進捗状況について把握	健康づくり推進協議会開催状況	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。</li> <li>・事務局の説明からは把握で</li> </ul>

評価項目		評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
	握しているか。			<p>きていると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター制度を拡大させようという取組状況が見えない。また、目標別に事業を整理して、取組が足りない部分を明確にした方がよい。</li> <li>・必要に応じた協議会が開催されている。</li> <li>・議事概要が市ウェブサイトで公開されており、進捗状況の把握が十分できている。</li> </ul>
<b>データ収集、モニタリングシステムの構築</b>				
(7)	評価指標について、データ収集の方法があるか。	ヘルスプラン21(第2次)結果評価票、ヘルスプラン21(第2次)影響評価票、ヘルスプラン21(第2次)目標指標となる数値の推移、健康についての調査報告書	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集の方法がわかりにくい。ベースラインを上げるには、区、公民館などに情報発信してはいかがでしょうか。</li> <li>・年間を通して比較的よく把握されていると考える。</li> <li>・結果評価票に数値、事業などの報告がなされている。「目標指標となる数値の推移」をみると各種がん検診や特定健康診査の受診率がまだまだ低く、一層の事業努力が必要とされることがわかる。</li> <li>・多岐にわたり調査がなされている。</li> </ul>
<b>目標の見直し</b>				
(8)	目標や評価指標について、見直しを行っているか。	ヘルスプラン21(第2次)影響評価票	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間見直しの際に、実施予定であり、現状では、見直しの必要性は高くない。(事務局)</li> </ul>
<b>事業の評価</b>				
(9)	目標に基づいて、事業の評価を行っているか。	ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力をしていると思われる。</li> <li>・評価の難しい内容を工夫して評価している。</li> <li>・評価票に「主な成果」として事業成果と一部には課題が記載されている。</li> <li>・市、各区役所、各団体から提出された事業について、定期的に評価を行っているが、各団体等から提出された事業内容に対し、ヘルスプランの</li> </ul>

評価項目		評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
				達成に向けてどのように改善を求めているのか明確でない。
<b>事業の見直し</b>				
(10)	新規事業の開始だけでなく、既存事業の見直しを行っているか。	ヘルスプラン 2 1 (第 2 次) に関する事業の取組	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独自性をもって、事業を実施していると思う。日々、反省と勉強が必要。</li> <li>・ 見直すところまでは、まだ十分にっていないのではないかと思う。</li> <li>・ 新規事業と見直した事業の区別がわかりません。</li> <li>・ 取組事例が記載されているものの、現行報告書では見直しの有無までは判断しがたい。特に市が行った単年度事業は見直しされた結果であることが考えられるが、一覧になったものがあれば判断しやすいのではないだろうか。</li> <li>・ 年度ごとに事業の課題をあげ、翌年の方向性を掲げているが、具体的な対応が明確でないケースが見受けられる。</li> </ul>
<b>環境整備に向けた取組</b>				
(11)	食環境や運動環境の整備など、健康づくりを支援する環境整備に取り組んでいるか。	ヘルスプラン 2 1 (第 2 次) に関する事業の取組	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心の深いものなので、良い方向にある。</li> <li>・ それぞれが独立して行動しており、横の関係が十分とれているとは言い難い。</li> <li>・ 子どもを中心とした事業（食育<sup>23</sup>や料理教室）は、若い年代にも参加しやすく好評だったようである。また、ウォーキングの会等との協働で運動環境にも取り組んでいることが評価できる。</li> <li>・ 各保健センターが、運動教室等を行っているが、いつでも、誰でも運動したい時に参加できる環境が整備されているかが明確でない。</li> </ul>

<sup>23</sup> 食育：様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようにするための活動のこと。

評価項目	評価する際に参考とする資料	評価	評価理由
<b>部局間の連携</b>			
(12)	関係部局との連絡、調整が円滑に図れているか。について把握しているか。	ヘルスプラン 2 1 (第 2 次) に関する事業の取組	2.8 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図れているため、毎年事業が展開していると思われる。</li> <li>・ 報告書の「事業を展開するうえで協働した課所、機関、団体」でみる限りは、部局間よりは団体との連携が図れていると見受けられ、判断が難しい。</li> <li>・ 1 1 に関連して、教育委員会などが実施している運動環境整備の把握がされているかが明確でない。</li> </ul>
<b>民間団体、関係機関、事業者等との連携</b>			
(13)	民間団体、関係機関、事業者等との連携が円滑に図れているか。	ヘルスプラン 2 1 (第 2 次) に関する事業の取組	2.8 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政、医師会など上手にコミュニケーションがとれて、内容が充実してきている。</li> <li>・ まだ円滑というところまではいっていない。</li> <li>・ 様々な業態との連携が図れている。サポーターを利用できる事業があれば、なお良いと思われる。</li> <li>・ 現役世代の健康づくりを推進するためには事業主の協力を得ることが不可欠。今後、事業主の協力が得られるように意識醸成を進めるべき。</li> <li>・ 市、各区役所、各団体で実施している事業へ協働した様々な機関、団体等があるが、自主グループがサポーターになる方法が市ウェブサイトでは明確でない。活動を広げるためには、参加方法を分かりやすく周知した方がよいと思われる。</li> </ul>